

第1回北海道地域学校協働活動推進研修会（道南会場）

【道央】平成29年7月11日（火）（渡島総合振興局講堂）参加者：61名

1 説明「地域学校協働活動について」

説明者 渡島教育局社会教育指導班主査 田中尚史

「教育改革の動向」、「学校と地域の連携・協働について～答申の内容～」、「『次世代の学校・地域』創生プラン」についての説明がありました。

また、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的・効果的な推進の在り方について紹介がありました。

参加者からは、「地域学校協働活動が大切であることが分かった。」などの感想が寄せられました。



2 選択研修 「子どもの読書活動プログラム」

講師 函館絵本の会「銀のふね」岸本和子氏

絵本の読み聞かせをきっかけに、子どもたちが読書の習慣を身につけることを目的として、読み聞かせの基本の技術などの演習を行いました。

参加者の多くが読み聞かせの経験があり、絵本の選び方や、子どもへの影響など具体的に学びたいポイントを講師に質問するなどして、研修を深めました。

参加者からは、「子どもが喜びそうな絵本と出会えてよかった。」などの感想が寄せられました。



3 選択研修 「木育プログラム」

講師 渡島総合振興局東部森林室 主査（木育推進）佐藤司氏

木育を体験するプログラムとして、スギの小玉作りを体験しました。スギの小玉は、数百個集めるとボールプールを作ることができます。

材料は、専用の機械で丸く加工してあり、表面がなめらかになるようにやすりをかけるのが主な作業です。

参加者からは、「子どもたちと共同作業をして、自分たちの教室にボールプールを作ることが可能だ。」、「初めての木育でしたが、遊びに取り入れたい。」などの感想が寄せられました。



4 選択研修 「コミュニケーション力を高めるプログラム」

講師 渡島教育局社会教育指導班社会教育主事 佐々木 智 史

室内でできる簡単なグループワークを通して、仲間づくりについて学びました。

参加者は、グループで「間違い探し」を行い、自然とグループ内で役割分担ができること、協同体制が作られることなどを体験し、指導者が意図してグループワークを取り入れることにより、児童同士のコミュニケーションが活発化すること、友人関係を築くきっかけになることを学びました。



5 選択研修 「学力向上プログラム」

講師 渡島教育局義務教育指導班指導主事 井田 昌之

放課後児童クラブや放課後子供教室等で学力向上を図るプログラムについて研修しました。

参加者は、活動プログラムの中で、落ち着いて学習に取り組むことができる環境を整える必要性や教材の準備の仕方について学びました。

また、学力学習状況調査の問題を解く活動を通して、児童のつまずきがどこにあるのかを考える演習も行いました。

参加者からは、「普段自分で問題を解くことはないので、良い経験になった。」などの感想が寄せられました。



6 情報交流 「子どもたちのために私たちにできること」

講師 渡島教育局社会教育指導班主査 田中 尚史

参加者は、グループに分かれ、実施している事業の内容や、今抱えている悩みについて交流しました。

課題として、「支援を要する子どもへの接し方に悩んでいる。」、「毎日の活動がマンネリ化して子どもが飽きている。」等の意見が出され、グループ内で解決方法について協議を行いました。

参加者からは、「情報交流の時間が大変貴重で、できるなら、参加者の多い時間帯に実施して欲しい。」などの感想が寄せられました。

